

# 令和 2 年度予算総括質疑の概要

令和 2 年第 1 回二宮町議会定例会

日 時 : 令和 2 年 2 月 2 7 日 (木) 午前 9 時 3 0 分より

No.	質 問 議 員	質 問 の 概 要
1	露木 佳代 議員	<p>「生活の質の向上と定住人口の確保」</p> <p>【小中一貫教育導入と学校再配置について】教育委員会は、今年度 7 月から 1 周目の意見交換会を開催し、総括質疑のある 2 月 27 日には 2 周目も終了している。回数、対象者別に考えた開催方法、周知等はこれまでの町開催の意見交換会のやり方に比べて丁寧で、実際の場でも町民の意見を聞く姿勢を感じるし、資料作りにも時間をかけていることは承知している。しかし、1 周目と 2 周目では、教育委員会の考え方や発言が大きく変わっていたり、また実現不可能だとしながら示している案もあって、考え方がわかりづらいという声があがっている。そもそもの目的と、現在の状況の整理、目指す教育像と学校再配置の関連性、考え方、教育委員会の議決のあり方、スケジュール、将来の学校の配置等について聞く。</p> <p>「環境と風景が息づくまちづくり」</p> <p>【役場庁舎について】新庁舎建設基本設計委託料が平成 30 年度予算審査と令和元年度 6 月議会補正予算審査で事実上 2 度連続否決となっている。現在は基本構想までが策定され、基本計画は白紙ということだが、建設地が「ラディアン裏の第一駐車場」から「ラディアン周辺」となっただけで、新築することは変わらず、ハザードエリアであることも変わらない。より安全な場所に建設するとのことなので、果樹公園の払い下げや、ラディアン隣のホテル跡地の活用（12 月議会で不動産鑑定のため手数料が計上され可決）を想定している可能性もあり、また、施政方針には「ラディアンを含む周辺を一体的に候補地として」と表記があるため、ラディアン自体の活用も考えられる。そのような中で町は、町民とワークショップをおこない基本計画から作り直すということである。どのような想定をしているのか非常に混乱するが、これまでの整理と、現状の町の考え方、ワークショップでの話し合いの前提条件、今後のスケジュールなどについて聞く。</p> <p>また、町民からは「まだ庁舎をどうするのか決まっていらないのか」と言われることもあり、町民から町への信頼は低下していると感じる。当初からの計画やプロセスに問題はなかったのか、現在までの経過を踏まえて、なぜこのような状況になってしまったのか、町長は町民に対してどのように考えているのか、伝える手段も含め聞く。</p> <p>【図書館について】町長は公の場において、日中の図書館の利用者が減っているという発言を何度かしている。また図書館協議会が静岡県、磐田市の「ニコット」という施設の視察に行ったのは、今後の図書館のあり方について、改善の必要性があると認識してのことと推察する。今後の図書館のあり方について、どのように考えているのか。</p>

		<p>「交通環境と防災対策の向上」</p> <p>【災害に強いまちづくりについて】今年度は大きな台風が発生し、町でも自主避難があったが、町民が避難所の開設状況や利用者数、混み具合などについて情報を得ることは難しかった。町の情報が一元化された状態で、しかもタイムリーに把握でき、それぞれの所在が地域と繋がるようになるために、町独自の災害アプリの提供を検討していくべきではないだろうか。災害時はもちろん、町内の事故や事件、行方不明者、不審者情報などを放送している防災無線が聞こえないという問題も解決できる。</p> <p>それ以外でも、町についてのあらゆること（町事業の進捗状況や、意見交換の案内・結果）を知らせたり、イベントカレンダーや健康カレンダーの代わりにとなるし、それらの案内を個人それぞれに合わせた適切な頻度とタイミングで自動的に発信することができるようになる。</p> <p>町が主に周知に使うのは、広報にのみや、掲示板、回覧板、フェイスブックなどだが、思うように情報が届かないことが多々あり、その状況を打破する強力な広報ツールにもなる。また、電源を入れる、画面をタッチするなど日々の高齢者の見守りができる機能もあり、使い方を丁寧に伝えていく必要はあるが、高齢者にこそタブレット等が必要で、手放せないものとなるはずである。すでに高齢者に配布され、活用している地方の町や村などもある。必要な人には安価にタブレットを貸与することも含め、既存のアプリ活用や、町のオリジナルアプリの提供を提案したい。</p> <p>「戦略的行政運営について」</p> <p>【職員の働き方について】事業の整理、業務のタスク管理、マニュアル作成などは早急にすべきであり、また、これまで何度も言っているが、3年計画などの長期スパンでの全体計画をなぜ作らないのか理解に苦しむ。そういった中での「計画的な人材育成の推進」とは何か、そして新しい試みである「窓口の総合的マネジメント」はこれまでと何が変わるのか。来年度の終わりに町長が描いている働き方改革の目指す姿、数年後の姿はどのようなもので、改善する具体的な部分は何か。</p> <p>また事業の整理を進めるためには、予算の見える化が重要だと考えられる。町長は町長選に立候補した5年半前に「予算の見える化」を公約に掲げている。今の状況が完成形でないならば、自己評価も含め、今までできなかった理由と最終的にはどのような形を実現するのかを聞く。</p>
2	大沼 英樹 議員	<p>令和2年度施政方針について</p> <p>(1)生活の質向上と定住人口の確保 小中一貫校統廃合、安心して通学できる夢のある教育について</p> <p>(2)環境と風景が息づくまちづくり ①吾妻山と菜の花に対する町の考え方と周辺整備について ②消費増税と経済展望について ③役場新庁舎建設計画の現在と今後について</p> <p>(3)交通環境と防災対策 現在の交通状況と道路整備について</p> <p>(4)国民健康保険制度 医療費と保険料負担の関係性と町の対応について</p> <p>(5)令和2年度の取り組み 共に認め合い、支え合い、響き合う町づくりについて</p>

3	一石 洋子 議員	<p>村田町長は施政方針で令和1年12月に神奈川県が「洪水浸水想定区域」で1000年に一度の大雨を想定したことから、新庁舎整備計画を一旦白紙にし、専門家、町民とともに基本計画を作り直すとした。大いに評価する。町民はSDGsに言われなくとも、大きな危機感を持ち、この町が出来ることを模索し、この町を変えたいと思っている。村田町長はそもそも変えたいと思う町民から町政を付託された。庁舎の課題に挑んだ熱意をもって真正面からこの町のあるべき様に変革する機を迎えた。地球温暖化による風水害の激甚化、放置された山林と大地の荒廃、脆弱化子ども達の成育環境の劣化、貧困、また孤独な多世代にわたる人々、前代未聞の社会状況である。国の施策が遅れる中、主権者に最も近い自治体のセーフティネットの役割は増大した。まさに施政方針にある「たくさんの人と対話を重ね手を取り合い大きな輪となって」これを築いていくしかない。我が事として考える人々と協働する二宮町を目指して総括的に以下を問う。</p> <p>①国は地球温暖化防止や災害防止等を図るために地方の安定的な財源として森林環境譲与税を令和1年より前倒しして譲与している。令和2年度予算では去年のほぼ2倍の歳入として計上されている。施政方針にうたわれる豊かな自然環境は荒れ安心安全な回復力はかなり失われている。二宮町のシンボルである吾妻山も、倒木崩落が各所に見られ限界にきている。森林環境譲与税を吾妻山の森の整備に活用するべきではないか。</p> <p>②東大果樹園跡地の取組、2月9日に行われた子ども会祭り、子ども食堂、子ども農園、学習支援とこの町がどの様に子ども達を育むかという危機感と、創意が高まっている。全国的にはこのような動きとともに、いじめ等、学校の諸問題を解決するため学校教育を転換する動きが広がっている。広島県では県庁の講堂で100人もの教育関係者と保護者20名が「脱画一」をテーマに対話する集会を開いた。そもそも二宮町で小中一環教育という方向性が出てきた本旨は学校再配置を施設主導でなく、児童生徒にとっての教育を受ける環境という観点から考えたいとする教育委員会の意向があった。二宮町でも自治事務としての学校の可能性を活かすべく教育関係者、専門家、保護者そして生徒も交えた議論の場を作りたいと考えるが如何か。</p> <p>③施政方針に新庁舎についてはリスク評価、効果的な投資のために計画案から作りなおすとあり予算説明資料に新庁舎整備事業費として64万円が計上されファシリテーター、コーディネーターへの謝礼との説明がある。未来に向けてもっと議論を、グランドヴィジョンをと求めていた多くの町民の思いをしっかりと受け止めたのだとすれば質が問われるところだ。職員、町民、専門家、による上質で本気の円卓会議が出来ればここ2年の行政の仕事が活かされ、この町の未来にとって貴重な一歩となると考えるが如何か。</p>
---	----------	--

4 前田 憲一郎 議員

令和2年度の予算編成は、令和4年度までの第5次二宮町総合計画後期基本計画、この計画およびその進捗状況を考慮しつつ策定される第2期総合戦略、令和2年度より令和6年度までの第2期子ども・子育て支援事業計画等、町の各種計画を予定通り満遍なく実施し、推進していくための予算案であると認識するが、当初予算案編成状況を見ていくと、令和2年度の予算にどのように反映されているのか読み取れない。一般会計予算において、歳入予算額を前年と比較すると、歳入合計は79億8千500万円で3.4%の減額となり、歳入の柱となる町税全体の対前年比はほぼ横ばいとなっており、生産人口の減少がより一層進んでいる中、役場新庁舎建設問題、老朽化した学校施設の長寿命化を図るための調査費、地域集会施設、いこいの家・児童館の耐震工事等の修繕・改修にかかる予算、その他各地区より数多く出されている要望に対応するための予算など課題が山積している。この状況下において経常収支比率も相も変わらぬ一層厳しい財政状況下におかれている中、熟慮に熟慮をかさね精査し作成された予算編成として、見方によっては十分評価できるころではあります。が、しかしながら、町長の施政方針に則り行政運営を進めていくという観点から見ていくとこの予算編成では、いかがなものかという疑問点や不安に感ずる点が何点か出てくる。そこで、次の点についてご答弁いただきたい。

- ①町長の施政方針を伺うと、「生活の質の向上と定住人口の確保」「環境と風景が息づく町づくり」など4項目にわたり、二宮町総合計画後期基本計画に沿って予算の重点施策・事業について述べられているが、二宮町を将来的にこのような町にしていく。という方針が見えてこない。以前より町有地の有効活用について検討していくということであったが、暫定的に駐車場とした町民会館跡地の5年後、現役場庁舎、町民センター、武道館と一体化して活用を検討するとお話をあった5億2千万円で購入し、25年もの長い期間、未利用地となっている正泉寺跡地、3億6千万円で購入した国立小児病院跡地など未利用地の活用について、町民の血税を使い購入したこれらの土地を町民全体にいかにも有効活用していくのか検討され、今後どのようにしていくのか。売却も考えているのか。いつまでも検討していきますではなくもういい加減に検討した結果をだされてもよいのではないのか。また、計画がなされ頓挫している北口整備計画を忘れていないのか。学校については、20年、30年後の予定について出されているわけで、明確な町の将来的なビジョンを伺いたい。
- ②一般会計予算についてですが、令和2年度の予算案の内容を見ると、例年とほぼ変わりばえのしない構成比である。他の自治体の予算構成比をみると前年を踏襲するのではなく、必要な項目の構成比が上がっている。二宮町の来年度の予算編成の重点項目をお聞かせいただきたい。
- ③予算案をみると、公園等借地にかかる借地料及び管理費が例年のごとく多額になっている。この借地料・管理費をどのように積算し、算出しているのかその根拠について説明していただきたい。また、これまでに多額の借地料を支払ってきているが、特に吾妻山公園については、今まで支払った借地料で購入できたはずである。今後も借地料を支払うより購入してしまった方が長い目で見れば安価で済むはずであり購入する計画をたてないのですか。
- ④健康寿命の延伸についてです。二宮町の健康寿命は神奈川県全体の健康寿命と比較して令和元年第4回議会定例会において指摘したように短い。総合戦略に記載されている目標値も低かったわけですが、この予算案でいくと、健康寿命を延伸していくための事業に対する予算が少なく、内容も口腔がん検診以外新たな事業がなく不十分である。町民各々の医療費を削減し、生活の質の向上を図っていくためには健康寿命をいきなり日本一にとはいかないものの、せめて神奈川県健康寿命に近づ

		<p>けるための事業をなぜ実施していかないのか。お聞かせください。</p> <p>⑤定住人口の確保となると生産者人口、子育て世代の移住を推進していくことになってくると思うが、どのような施策を講じているのかお聞かせください。</p> <p>⑥近年、全国的に起こっている風水害の被害が昨年は神奈川県内市町村においても発生しました。幸いにも二宮町においては大きな被害はなかったが、今後大きな被害が出ることも予想されます。自助・共助と言われるならば防災訓練・自主防災組織育成に対し、この予算でどのようにして防災訓練をより一層充実したものとし、組織を育成していくおつもりですか。また、避難所開設等の課題が浮き彫りになり、速やかに課題について検証し、一定の方向性を導き出すことができた。と、ありますが、どのような方向性を導き出したのか。お聞かせください。</p> <p>⑦道路整備等数多く出されている地区要望に対し、どのように対応していくのか。お聞かせください。</p> <p>⑧国民健康保険特別会計予算案についてですが、予算額が3千888万3千円の減にした根拠についてお聞かせください。</p> <p>⑨下水道特別会計に一般会計より毎年多額の繰り出し金がでています。水道使用量と下水道使用量は若干の誤差があってもほぼ同じになると思いますが、現在二宮町では下水道汚水量ははるかに多くなっており、町民が支払う下水道代が増え、一般会計からの繰り出し金が多くなっているのではと思います。水道使用量と下水道使用量に大きな誤差がなければこれほどまでの多額の繰り出し金は必要ないと思いますので、その点について説明していただきたい。</p> <p>以上、ご答弁いただきたい。</p>
--	--	--

備考：2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。  
本人の通告書の原稿を転記したものです。